



ニュースレター
2014.MARCH No.01

NEWS LETTER



ご卒業おめでとうございます！

山形大学校友会では、これまで会報を年1回発行してまいりましたが、卒業生会員の皆様により新しい情報をお届けするため、新たにニュースレターを発行します。

「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク」を設立しました。

山形大学校友会では、平成25年12月21日(土)に、キャンパス・イノベーションセンター(東京都港区芝浦)を会場に「山形大学各同窓会東京(関東)支部と山形大学校友会との情報交換会」を開催し、「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク」を設立することを決定するとともに、岩城功希鶴窓会関東支部事務局長に初代会長をお願いすることになりました。これによって、首都圏にある山形大学同窓会と校友会との連携協力が図られることが期待されます。

この情報交換会は、山形大学校友会と各同窓会との協力関係の一層の強化を図ることを目的として昨年度から開催しているもので、今回は首都圏に位置する6つの同窓会支部から計18名の皆様にご出席いただきました。

校友会と各同窓会支部からの活動状況等の紹介そして山形大学就職課長による山形大学卒業生の東京都内への就職状況についての説明も行われました。

今回ご出席いただいた同窓会支部は次のとおりです。

東京ふすま会、地域教育文化学部同窓会東京支部、米沢工業会東京支部、同埼玉支部、同神奈川支部、鶴窓会関東支部

山形大学同窓会・首都圏ネットワーク

- 事務所は山形大学東京サテライト内(東京都港区「キャンパス・イノベーションセンター内」)に置きます。
- 山形大学各同窓会首都圏支部と山形大学校友会との連携協力を図り、併せて山形大学の発展に貢献することを目的としています。
- そのため、次のような事業を行います。
 - ・ 山形大学各同窓会首都圏支部と山形大学校友会との情報交換に関すること
 - ・ 山形大学学生への就職支援に関すること
 - ・ 「山形大学OB・OGセミナー」の開催に関すること
 - ・ 会員相互の親睦、研修等に関すること
 - ・ その他必要と認める事業
- 次の山形大学各同窓会支部会員でネットワークへの入会を希望される方が会員となります。

東京ふすま会、地域教育文化学部同窓会東京、神奈川、横浜、川崎、千葉の各支部、米沢工業会東京、神奈川、埼玉、千葉の各支部、鶴窓会関東支部、山形大学校友会
- 会長、副会長は次の皆様です。

会 長：岩城 功希さん(鶴窓会関東支部)
副会長：相馬 義嗣さん(東京ふすま会)
// 朝倉愉美子さん(地域教育文化学部同窓会東京支部)
// 小林 紀和さん(米沢工業会東京支部)
- 会費はありません。



山形大学OB・OGセミナー

Campus Innovation Center Tokyo

2014.3.1

毎年恒例となっている山形大学OBセミナーが、平成26年3月1日にキャンパス・イノベーションセンター（東京都港区芝浦）を会場に約100名の首都圏在住の卒業生の皆様にご参加いただいて開催されました。

結城章夫学長（校友会会長）の山形大学の現況を含めた挨拶の後、小山浩正農学部教授による講演「ブナの森の不思議－その知られざる生態から地域の話題づくりまで－」が行われました。

次に本学人文学部を平成16年3月に卒業し、現在、日本で唯一の国立大学出身女流講師として活躍中の宝井琴柑さんの指導のもと、参加者全員が大きな声でミニ講談を体験した後、講談「剣豪塚原ト伝 羽黒山に来たる」が披露されました。

引き続き、会場を移して懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中、同窓生の皆様と本学関係者とが多に交流を深めました。



結城学長の挨拶



小山浩正教授による講演



高らかに学生歌「みどり樹に」を斉唱



宝井琴柑氏によるミニ講談体験と講談一席

山形大学同窓会 一覧（平成26年1月現在）

同窓会名	会長名等	連絡先
ふすま同窓会	会長 長沼 龍平	〒990-0034 山形市東原町1-9-4 ふすま同窓会館内 「ふすま同窓会」事務局 TEL・FAX: 023-633-9927
地域教育文化学部同窓会	会長 酒井 順一	〒990-0021 山形市小白川町1-13-27 地域教育文化学部同窓会館内 「地域教育文化学部同窓会」事務局 TEL・FAX: 023-633-0567
医学部医学科同窓会「蔵王会」	会長 山下 英俊	〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部医学科同窓会 「蔵王会」事務局 TEL: 023-628-5157
医学部看護学科同窓会「樹氷会」	会長 細谷たき子	〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部看護学科同窓会 「樹氷会」事務局 FAX: 023-628-5464 E-mail: juhyokai@yahoo.co.jp
一般社団法人 米沢工業会	理事長 山崎洋一郎	〒992-0038 米沢市城南4-3-16 山形大学工学部内 「一般社団法人 米沢工業会」事務局 TEL: 0238-22-7866
農学部鶴窓会	会長 佐藤 晨一	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部内 「鶴窓会」事務局 TEL・FAX: 0235-28-2897

校友会事務局から同窓会支部総会等への参加状況 (平成25年度)

校友会事務局から次の各同窓会・同窓会支部の総会等に参加し、卒業生の皆様と情報交換をさせていただきました。今後も各地の同窓会総会等に参加させていただき、同窓会との連携を一層深め、校友会の事業等に反映して参りたいと考えています。

東京ふすま会 平成25年度総会

5月11日(土) 会場：学士会館

講演会講師：社団法人「中高年齢者雇用福祉協会」研究主幹・主席講師
熊谷 真様(「高齢期のライフプラン」)



東京ふすま会

ふすま同窓会 平成25年度総会

5月18日(土) 会場：ホテルサンルート山形

ふすま同窓会仙台支部 平成25年度総会

6月1日(土) 会場：花京院グリーンコート

鶴窓会関東支部 平成25年度総会

6月9日(日) 会場：キャンパス・イノベーション・センター(東京サテライト)

講演会講師：地域教育文化学部同窓会東京支部顧問 蜂谷義雄様(「新島流人と天有法印」)



鶴窓会関東支部

平成25年度地域教育文化学部同窓会東京支部総会

6月23日(日) 会場：スクワール麹町

講演会講師：那須稔雄地域教育文化学部長(「山形大学地域教育文化学部の現状と課題」)



地域教育文化学部同窓会東京支部

米沢工業会神奈川支部 平成25年度総会

7月6日(土) 会場：ヨコハマプラザホテル

講演会講師：伊豆急行株式会社専務取締役
今成孝雄様(「三時間半のドラマ! こうして渋谷駅は地下化された」)



米沢工業会神奈川支部

米沢工業会山形支部 平成25年度総会

7月12日(金) 会場：山形グランドホテル

平成25年度米沢工業会北海道支部総会

7月20日(土) 会場：ほくでん北二条クラブ

米沢工業会東京支部 平成25年度総会

9月6日(金) 会場：メルパルク東京

講演会講師：大学院理工学研究科 綾部 誠准教授(「リチウム資源開発に関わる産業人材の取り組み」)

鶴窓会関西支部 第7回総会

10月5日(土) 会場：割烹 湖月

講演会講師：花豊造園(株)顧問 古川良和様(「造園業今昔」)
湖北農業農村振興事務所長 伊藤利昭様(「環境こだわり」)

地域教育文化学部同窓会母校創立135周年祝賀行事

10月14日(月) 会場：山形国際ホテル



地域教育文化学部同窓会
母校創立135周年祝賀行事

平成25年度米沢工業会T H会首都圏支部総会・芋煮懇談会

10月19日(土) 会場：赤坂クーボール

講演会講師：大学院理工学研究科 岡田修司教授(「機能性有機材料の今」)

平成25年度「ふすまの日・ふすまの夕べ」

10月25日(金) 会場：山形グランドホテル

米沢工業会千葉支部 平成25年度総会

10月26日(土) 会場：ホテルプラザ菜の花

講演会講師：人文学部 坂井正人教授(ナスカ研究所副所長)(「山形大学のナスカ地上絵研究」)



米沢工業会関西支部

米沢工業会関西支部 平成25年度総会

11月16日(土) 会場：大阪弥生会館

講演会講師：東レ(株) 専務取締役 奥田慎一様(「東レにおけるエンジニアリング・マネジメント」)

平成25年度米沢工業会東海支部総会

11月10日(日) 会場：KKRホテル名古屋

講演会講師：大学院理工学研究科 綾部 誠准教授
(「リチウム資源開発に関わる産業人材育成の取り組み
ーオールジャパンの一角を担う山形大学工学部ー」)



米沢工業会東海支部

卒業生から

先輩から卒業する皆さんへ

日本電子株式会社 代表取締役 兼 副社長執行役員 岩 槻 正 志

山形大学 理学部 物理学科 理III (昭48年) 卒



卒業生諸君！ご卒業おめでとうございます。また、社会人として歩み出す方も多いと思いますが、山大のOBとして皆様の門出をお祝いすると共に社会に出る心構えを短く述べたいと思います。

昨今は、学生時代からいろいろな社会人の方が大学に来られて、社会連携講座や、キャリアデザイン講座などを行っており、大学内でも情報は得られていると思います。しかし、実社会は年齢層も幅広く、学歴やキャリアも異なる人々の集団であり、会社ごとの文化も異なります。更には社会環境異なる文化



学生時代の卒業研究：樹氷成長 (阿部正二郎研究室)

で育った方も多く、特に外国の方との接触も多くなり文化の違いを意識せざるを得なくなると思います。

好むと好まざるとに関わらず世界はグローバル化が進み、新興国の発展と共に

に国境という垣根はどんどん下がっています。これと共に産業もコモデティーな製品はコストの低い新興国に移管されて行くのは自然の流れです。

このような中で、どのような産業が日本に残るべき、また残すべき産業でしょうか？日本には、多くの部材産業があり高品質の素材を手に入れることが可能であり、伝統的な職人の技や技術の粋を求める気概が各製品を作る課程で存在しており、このような 摺り合わせ技術に裏打ちされた高品質なハイエンド装置や、「おもてなし」マインドで示されるような安全・安心なサービスでは世界でも類を見ない国民性を思っています。これを大事にして貰いたいと思います。

「技術(仕事)に国境は無い、しかし技術者(人)には祖国がある。」をベースに何事にもチャレンジする精神を持っていくことがどこでも通用する道だと思います。

資源の無い日本が世界で受け入れられ生き残るためには、いろいろな面で貢献して信頼を勝ち取って行くことにより、その対価としての価値を日本にフィードバックして行く仕組みを作ることが重要と考えます。常に、グローバルな感覚を意識して、世界に貢献する気構えを持って頂ければ考える次第です。自分自身の5年後、10年後、30年後の姿を意識した社会人生活を送って欲しいと願っております。

新卒業生にお願いしたいこと 岩 城 功 希

山形大学 農学部 農業工学科 (昭38年) 卒



私は昭和38年農学部を卒業し、現在シルバー時代を楽しみながら、農学部の同窓会組織である鶴窓会の関東支部の事務局長、そして昨年12月末に首都圏で、発足した山形大学同窓会の横断的組織である山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワークの会長をしています。

新卒業生の皆さんご卒業、おめでとうございます。私は北海道出身ですが、当時国立大学は、一期校、二期校と分かれていて、二期校であった山形大学は、札幌でも受験できる機会があったので、その縁で、当大学に入学することが出来、山形県が第二の故郷となった次第です。入学した昭和34年は、34年安保の時代で、安保改正反対と叫びながら、教職員とともにデモをしたことも今は懐かしく思います。一般教養は山形市で受け、工学部は1年、農学部は1.5年で、山形を離れて、それぞれ米沢市、鶴岡市へと移りました。その頃の専門課程の先生方は若く、良くコンパと称して、酒を酌み交わし、楽しい学生時代を過ごさせて頂きました。卒業した38年は39年東京オリンピックの景気に沸いていた時で、建設会社にお世話になり、都市土木に従事し、夜昼と働きました。私達の働いた壮年期の日本は、“Japan as No.1”と云われて、世界からもてはやされましたが、気が付いたらバブル景気も終わり、定年を迎え、年1、2回の海外旅行を楽しみ今日に至っております。

最近同窓会の運営をしていて、感じたことを述べますので、新卒業生の皆様に目を通して頂ければ幸いです。毎年同窓会を開くために、その案内状を往復葉書で出すのですが、若い人からの返信が1割にも達しません。このような会に、係わるのが面倒なのかも知れませんが、返信欄に案内状不要とでも記して、必ず投函してくれるようお願いします。それとも一つですが、最近の若い人は、会話などで、語尾を上げて話す傾向にありますが、上げないで、正しい日本語を話されるようこの点も、お願いします。首都圏では同窓会・校友会のネットワークも発足し、事務局を山形大学東京サテライト(※)に置いています。何かありましたら是非サテライトの方に来てください。お待ちしております。

※山形大学東京サテライト：東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター 609号室 (JR田町駅芝浦口から徒歩1分)



中国・敦煌鳴砂山にて

山形大学エンrollment・マネジメント部

山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小川町1丁目4-12 TEL: 023-628-4867 FAX: 023-628-4185 E-mail: ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉 <http://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>